

TIB におけるテストマーケティング等  
プロジェクト協定金支払いに係る算出方法について

令和8年2月

東京都 スタートアップ戦略推進本部

戦略推進部 イノベーション戦略課

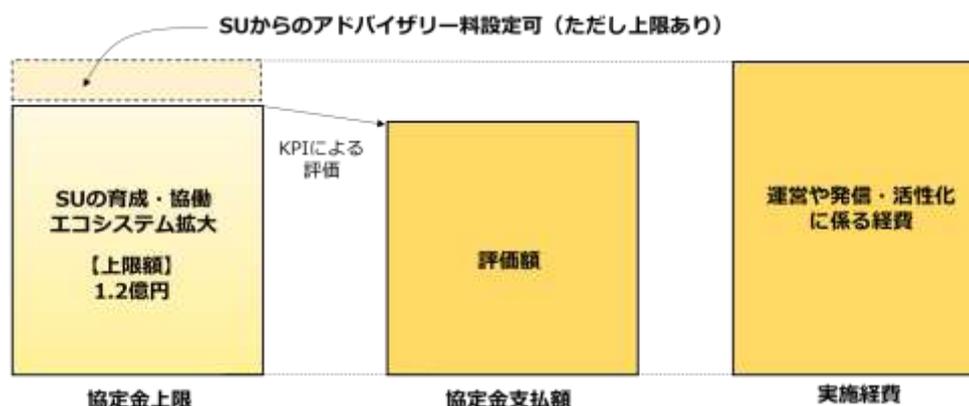
## 1 プロジェクトの収支について

本プロジェクトの収支は、原則として、都からの協定金及び対象スタートアップからのアドバイザリー料で賄うことを想定しています。

このうち、都からの協定金は、上限 1.2 億円を K P I 方式にて算出します。プロジェクトの運営や発信・活性化に係る費用について、対象スタートアップの育成・協働を進め、TIB を巻き込んでエコシステム全体を拡大する取組に関して、KPI を設定し、その達成状況及び事業全体の成果を評価して、上限を 1.2 億円として、評価額をお支払いします。

本プロジェクトの実施に際して、協定金の対象外となる経費は、本プロジェクト実施事業者が、対象スタートアップからのアドバイザリー料を設定して賄うことを可能とします（ただし、アドバイザリー料は、1日1対象スタートアップあたりで上限1万円とし、提案を通じて設定）。

### 【本プロジェクトの収支イメージ】



### 2-1 評価額の算定方法

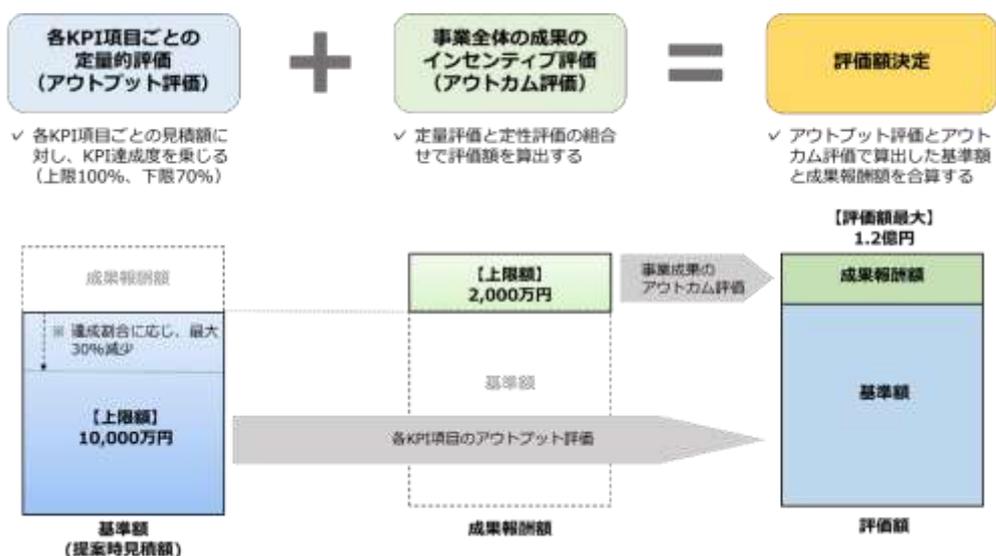
本プロジェクト実施事業者は、応募時に評価額相当の見積額（以下「基準額」という。）及び K P I の設定、その設定方針の提示が必要です。評価額の支払いにあたっては、外部有識者を含む K P I 評価委員会により、達成度合い等の事業の成果を総合的に評価します。

都は、K P I の達成状況及び事業全体の成果を定量面・定性面の 2 つの観点から評価し、評価結果に応じた評価額の算定を行います。

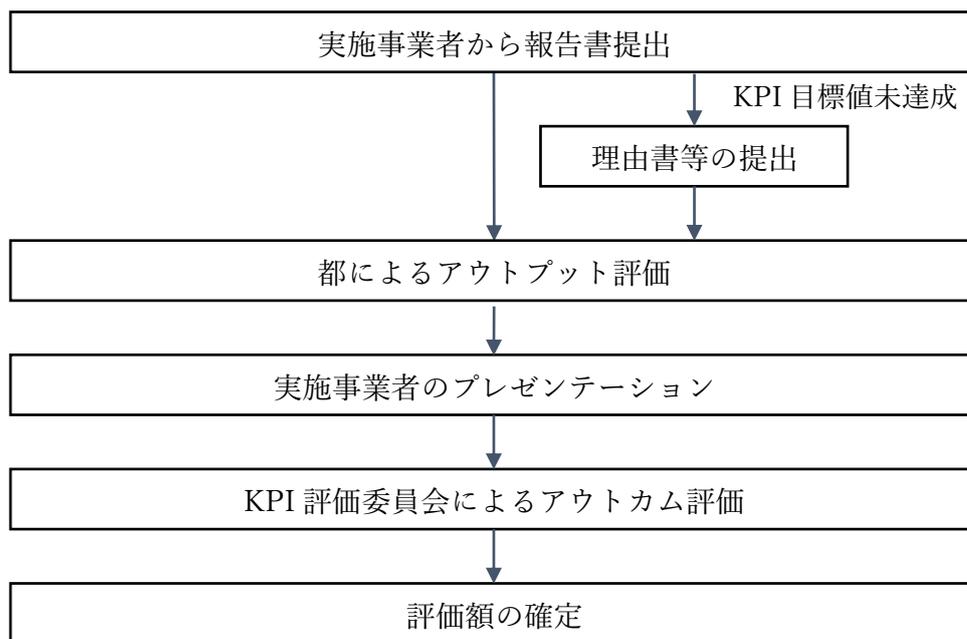
K P I の達成状況及び事業全体の成果の報告は事業終了後に行い、それに基づき、K P I 評価委員会による事業全体の評価が行われ、評価額が確定します。そのような評価設計の中、本事業の目的達成や品質管理のために都で設定した K P I 指標（必須項目）の数値目標と実施事業者が独自に設定した K P I 指標の数値目標（任意項目）を必達条件とし、都が一律に定量的評価（アウトプット評価）を行います。これらの数値目標を満たさない場合は、基準額から達成率に応じ、減額された基準額の支払いになる場合があります。

次に、K P I 評価委員会が定量・定性の両面からインセンティブ評価（アウトカム評価）を行い、本事業趣旨の実現を促進・加速させるような効果を創出したと判断された場合は、上記の基準額に加え、インセンティブ（成果報酬）が追加され、最大 2,000 万円が支払われます。上記に基づく評価結果と協定金支払額の紐づけ及び評価実施手順のイメージは以下のとおりです。

【協定金決定までの流れ】



【達成状況の確認方法】



## 2-2 KPI 評価について

### (1) アウトプット評価

KPI 指標については、本事業の目的達成や品質管理を最低限保証する目的で都が定めた必須項目と実施事業者が設定する任意項目に分けられます。応募時には、様式 1「KPI 設定説明書」により提案してください。

定量評価では、公平性の観点から各実施事業者の達成度合いを統一した基準で計るため、KPI 項目毎に数値目標及びそれらが達成されたと判断するための『達成』要件を設定しています。

実施事業者は、事業報告時に事業報告書とともに各 KPI 達成状況を客観的に確認できる根拠資料（各種契約書、議事録等）を提出する必要があります。（各必須項目・任意項目の数値目標及び『達成』要件の詳細は、以下の①必須項目及び②任意項目をご参照ください。）

これらの KPI 指標が達成されない場合は、協定金の支払い金額が基準額から減額となる可能性があります。

また、未達成の場合や根拠資料に不備がある場合は、理由書をご提出いただきます。提出いただいた理由書等を基に、目標値に未達成となった背景・要因等を評価委員会で検討し、最終的な評価額を決定いたします。

#### ① 必須項目

評価額算定の審査時において、必達条件となる数値目標は以下のとおりです。

KPI 項目		数値目標	『達成』要件
必須	対象スタートアップ数	66 社以上	出店（企業概要の書類提出）
	出店スタートアップと支援者等とのマッチングイベント	12 回以上	開催報告書
	対象スタートアップにおける協業・出資先等とのマッチング数	66 件以上	プロジェクト実施事業者及び TIB のネットワークを通じた連携先の意向を確認（NDA、会議録等提出）
	購入者数	2.3 万人以上	品名、売上額等売買情報
	SU の海外展開・同行	3 回	報告書

## ② 任意項目

実施事業者は、効率的・効果的な事業遂行のため独自の K P I 指標を設定・提示する必要があります。K P I 指標は下記の例を参照して最低一つ設定・提案をしてください

なお、評価項目や数値は必ずしも記載例に倣う必要はありませんが、本事業目的に合致する K P I 指標を提案してください。

また、本事業をより効果的に実施する K P I 設計であると思料された場合は、インセンティブ評価における考慮事項となる可能性もあります。((例) NPS など)

## (2) アウトカム評価

インセンティブ評価時には、アウトプット評価以外に K P I 評価委員会が以下の観点から定性的な評価と定量的な成果から事業全体の評価を行います。委員により、本事業趣旨を実現する効果を創出したと評価される場合、基準額に成果報酬額を加えた金額が協定金の支払額となります。

<b>【定性的な評価の観点】</b>
TIB SHOP がスタートアップのテストマーケティング等の場として広く認知され、多くの交流や賑わいが生まれたか
<b>【定量的な評価の観点】</b>
スタートアップが出店により期待した成果が十分に得られたか

### <成果報酬額算出方法>

定量的な評価の観点を「基礎点」、定性的な評価の観点を「加減点」として算出し、それぞれの合算により S~D の 5 段階評価を行い、アウトカム評価に基づく成果報酬額を決定します。